

部活動の実態調査（中学校:教職員）に係るアンケート結果（まとめ）

- ・実施期間：令和6年7月16日～8月5日
- ・実施対象：中学校の教職員
- ・有効回答：241名

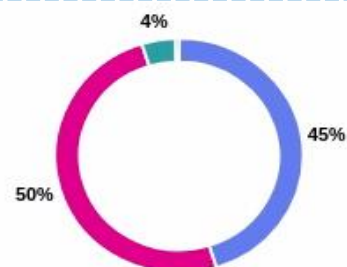
《①顧問の部活動の指導における現状》

- 顧問をしている部の競技（取り組んだ）経験はありますか。 ※中学生・高校生・大学生等での競技（取り組んだ）経験等について

206 応答

● ある	93
● ない	103
● 競技経験はないが、指導経験は5年以上ある	9
● その他	1

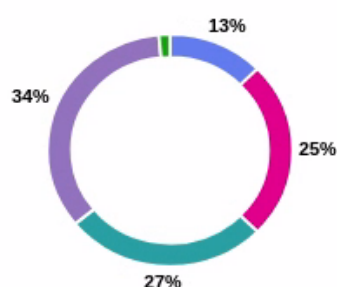
約5割の教職員が経験なし・自信ありは約4割
（自信をもって指導することが難しい状況）



- 顧問をしている部の指導に関して、自信はありますか。

206 応答

● ある	26
● ややある	51
● あまりない	55
● 全くない	71
● その他	3

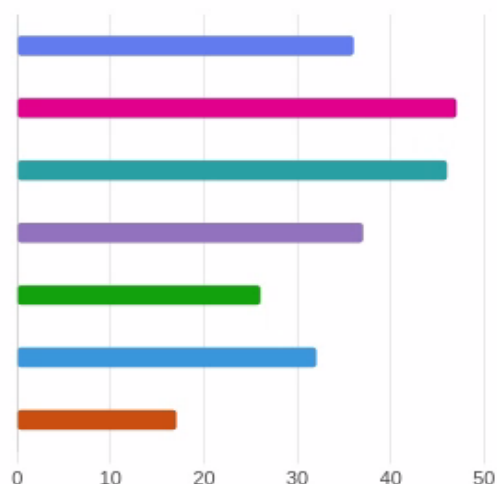


約5割以上の教職員がやりがいを感じているが、全く感じていない割合も13%と決して少なくない状況がある。

- あなたは部活動の指導に関して、やりがいをどの程度感じています（いました）か。

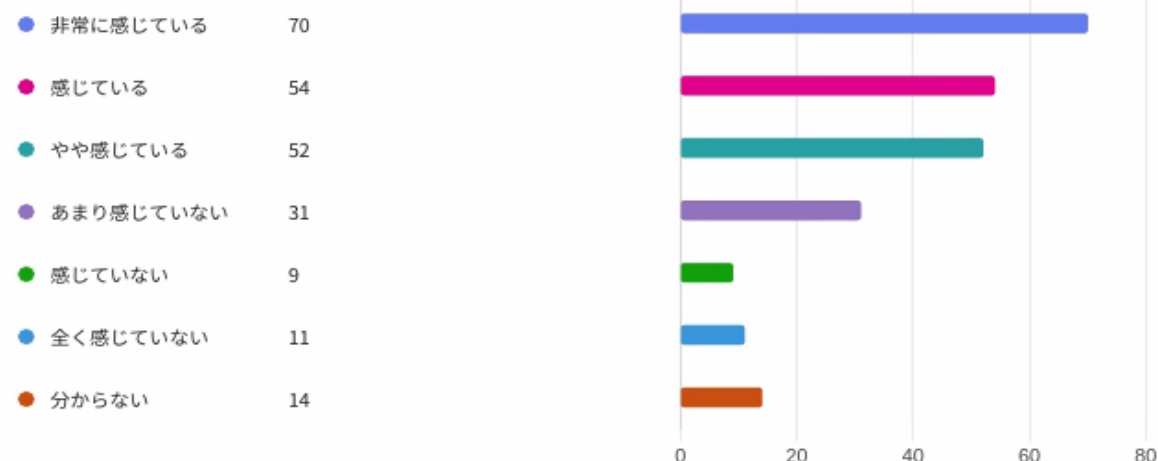
241 応答

● 非常に感じている	36
● 感じている	47
● やや感じている	46
● あまり感じていない	37
● 感じていない	26
● 全く感じていない	32
● 分からない	17



○ . あなたは部活動の指導に関して、負担をどの程度感じていますか。

241 応答

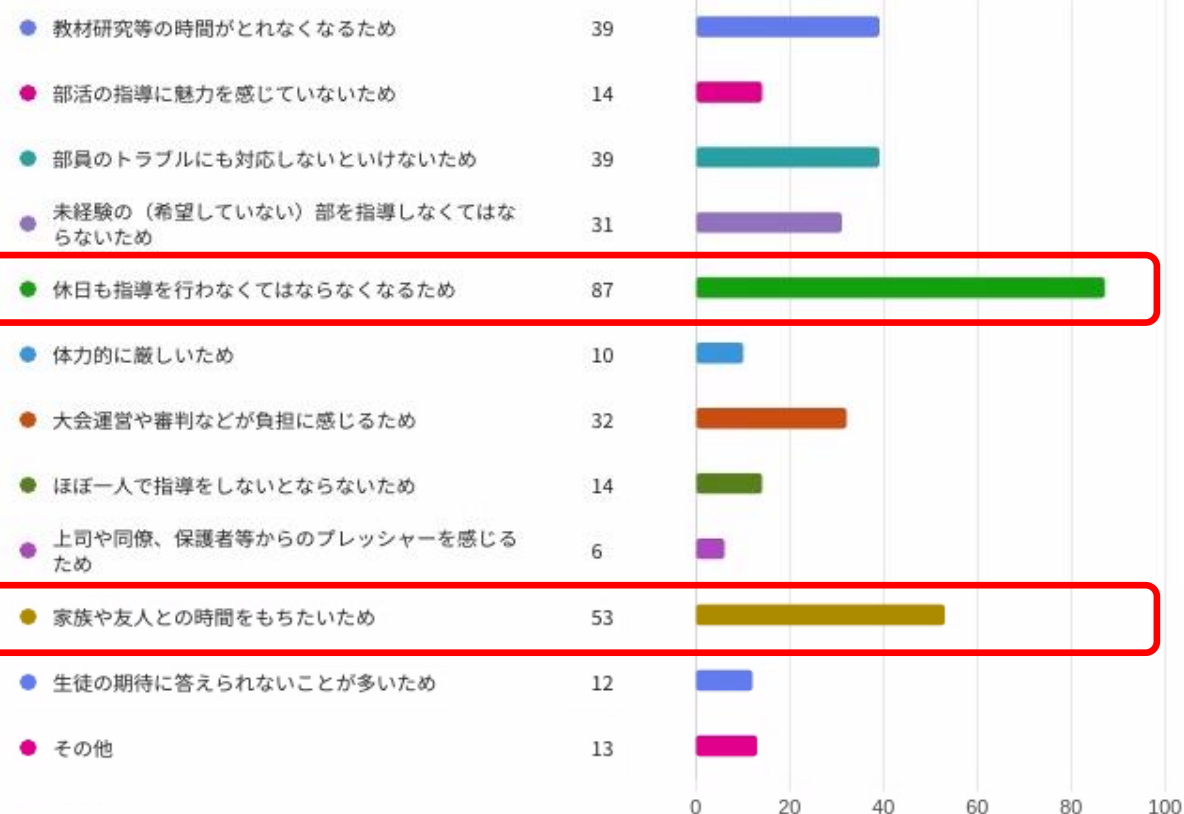


約 30%の教職員が負担を非常に感じており、感じている、やや感じているを合わせると、実に 73%の教職員が負担に感じている状況があり、やりがいは感じているものの、その負担感が高いことが分かる。

負担の理由としては、「休日の指導」が一番多く、次いで「家族や友人との時間をもつことが難しいこと」、その次に「教材研究の時間が確保できないこと」や「部活内のトラブル対応」があがっている。一方、「部活動の指導に魅力を感じない」や「上司や同僚、保護者からのプレッシャー」等に関しては少なかった。

○ 「負担を感じている」その理由を教えてください。

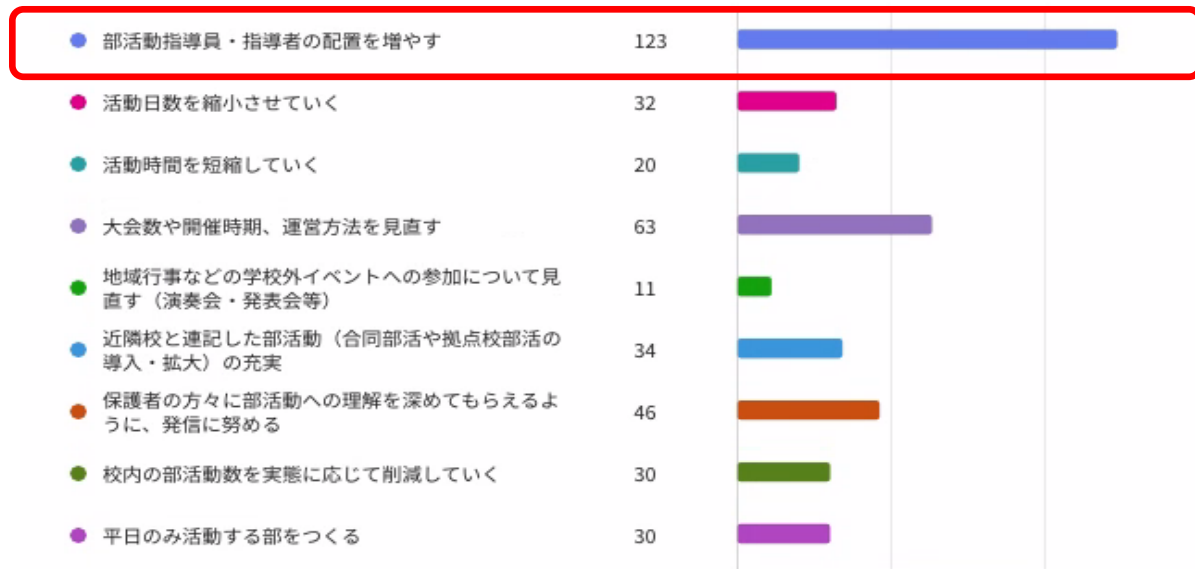
124 応答



負担軽減策としては、「部活動指導員・指導者の配置を増やす」を半数以上が回答し、次に「大会のあり方の見直し」、「保護者への周知・理解」があがった。
また、活動日数や時間の縮小、平日のみ活動する部をつくる等の回答も一定数あり、指導を担う、教職員においても多様なニーズがあることが見て取れる。

○ 部活動の負担軽減のために取り組んだら良いと思うことがあれば教えてください。

241 応答



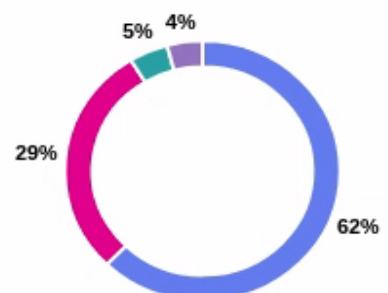
《②地域移行について》

「知っている」が約6割を超え、「聞いたことはある」を合わせると、9割を超える。
一方、「賛成」は約60%、「反対」約7パーセントと、賛成が大きく上回る結果となった。
「分からない」と回答した教職員も3割以上いるため、丁寧に進めていく必要がある。

○ （休日の）部活動の地域移行の取組について知っていますか。

241 応答

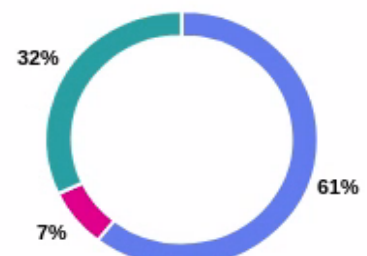
● 知っている	150
● 聞いたことはある	70
● あまり知らない	11
● まったく知らない	10



○ 休日の部活動の地域移行について、どう思いますか。

241 応答

● 賛成	146
● 反対	18
● 分からない・どちらとも言えない	77

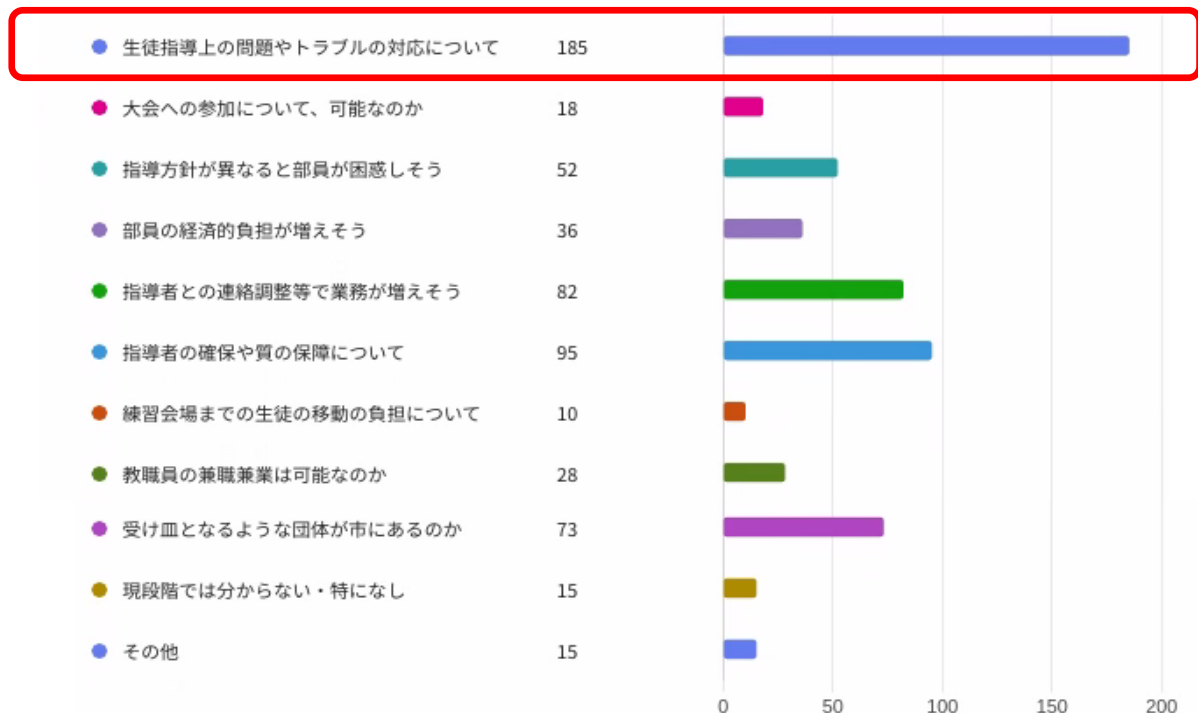


平日の地域移行に関しても、過半数以上の教職員が賛成を示しているが、一方で懸念する点として、「地域クラブでの生徒指導上の問題やトラブルの対応について」を回答した割合が76%と極めて高く、次いで「指導者の確保や質の保障」、「休日の指導者との連絡調整業務が増えそう」がつづいた。

また、部活動の教育的意義や生徒の居場所としての機能を有していることから、地域移行することへの、反対意見や心配する考えも見られた。

○ 休日の地域移行にあたって懸念する点があれば、教えてください。

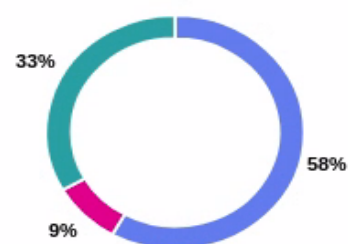
241 応答



○ 平日も含めた部活動の完全地域移行について、どう思いますか。

241 応答

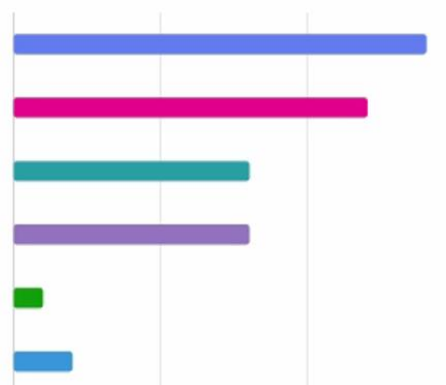
● 賛成	140
● 反対	21
● 分からない・どちらとも言えない	80



○ その理由があれば、教えてください。

21 応答

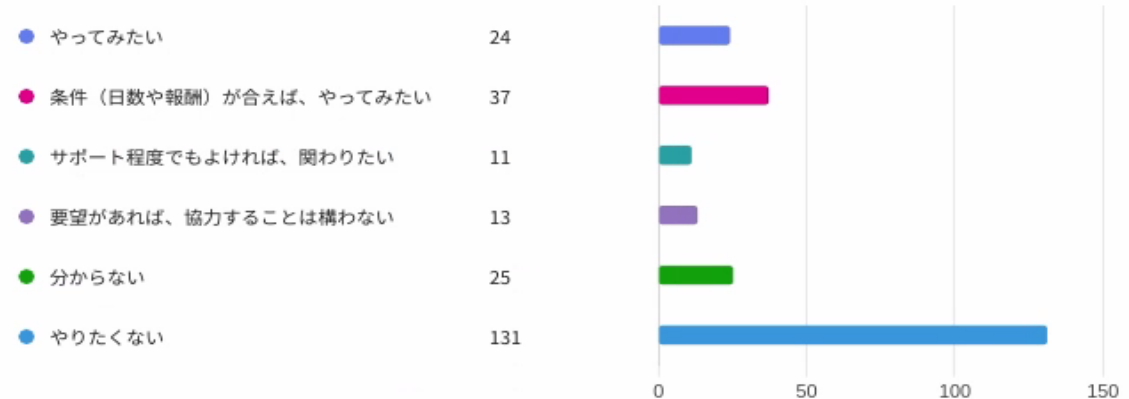
● 学校の部活動は教育的意義が高く、学校に位置づいていることに価値があると思うから	14
● 部活は生徒の居場所になっているから	12
● 生徒指導上の問題が多発しそうだから	8
● 授業や学級とはちがう一面を校内で見ることができなくなるから	8
● 中学校としての魅力が薄れてしまうから	1
● 生徒の経済的負担が増えそうだから	2



兼職兼業が可能であった場合でも、約6割の教職員は休日の地域クラブの指導者を希望しない結果となった。一方、協力ベースも含め「部員の成長を引き続き支援していきたい」「協議の指導が好き」や「生徒との信頼関係を構築できる機会」といった理由により、地域クラブでの指導に携わることを検討している教員も一定数いることが分かった。また、適切な報酬額についてはバラツキはあるが、見合った報酬が必要だと感じられる。

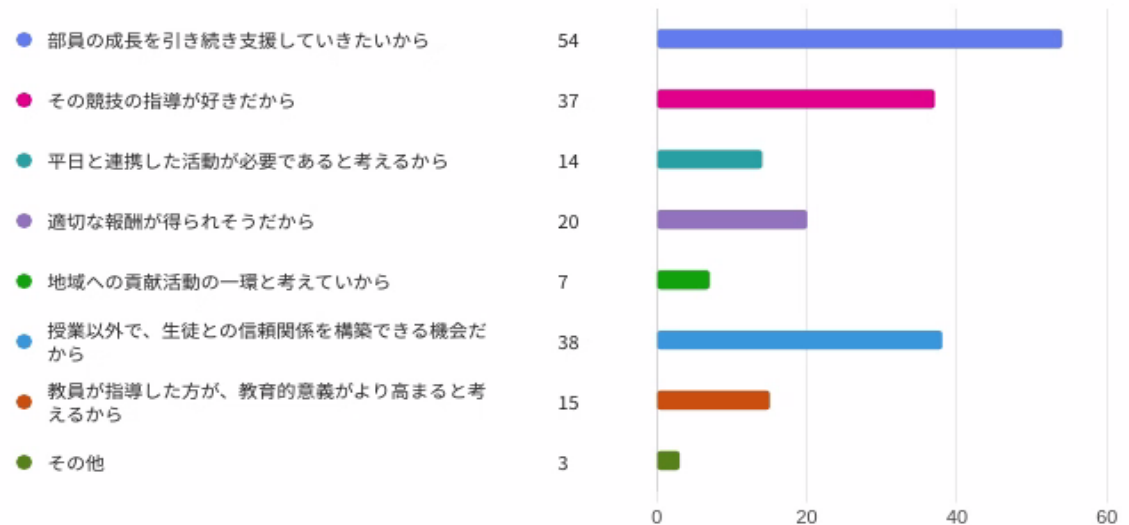
○ 兼職兼業が可能であれば、休日の地域クラブの指導者として、指導したいと思いますか。

241 応答



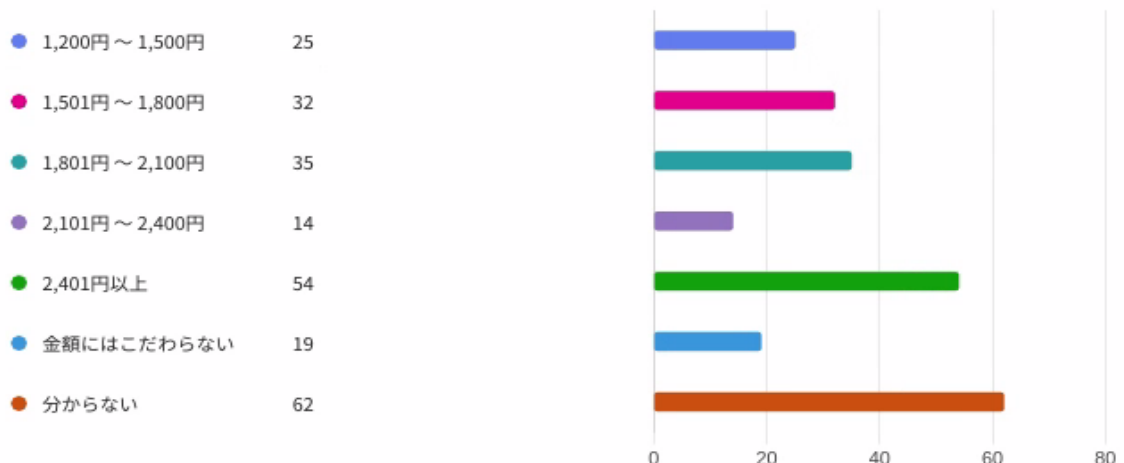
○ 地域クラブの指導者として、活動（協力）してもよいと回答した理由を教えてください。

85 応答



○ 地域クラブの指導者の報酬として、適切だと感じる時給を教えてください。

241 応答



(地域移行推進に関する意見等)

- ・休日のみとかではなく、部活動の完全廃止を望む。
- ・学校が関与しなくて済むような、教員の負担軽減を考えた地域移行の形を検討してもらいたい。
- ・実際に予算等があるのは分かるが、地域に任せるのなら早くしてほしい。
- ・一斉でなくても、できる部活からどんどん地域移行していきたい。
- ・受益者負担が必要だと考える。従来から部活動は、教員の善意によって何とか成り立っていたものであることを、生徒・保護者・地域を含め、理解を深めるべきだと考える。
- ・現状、仕事の量を考えると、休日の部活動の指導等によって、教材研究にあてる時間や家族との時間が取れないのはすごく苦しい。
- ・地域で子どもたちが生き生きと安心して活動ができるのであればいいなと思う。
- ・地域移行していくなら、学校と部活を完全に切り離してほしい。部活で起きた問題は学校は関与しないようにしてほしい。
- ・部活動と学校は基本的に切り離してほしい。本来は自主的な活動だと思うが、保護者に生徒、地域の方々も学校がやって当たり前と考えているように感じる。部活動だからこそ得られる居場所や体験もあるが、日常の業務に支障をきたすような今の形では、持続可能は難しい。

(地域移行に関する懸念点等)

- ・顧問の負担が減るのは賛成だが、練習場所に行く道中での事故等の責任の所在が気になる。
- ・部活動は生徒にとっても重要なので、現場の声をしっかり聞いて、慎重にすすめるべき。
- ・完全な地域移行は現実的に厳しいと感じている。休日のみ地域移行を行っても、指導者との連携やトラブルの対応等、新たな負担が生じることが懸念される。
- ・部活が休日のみ地域移行になった場合、休日活動のトラブル対応も学校でとなると、対処療法が増え、部活組織づくりなどの予防ができなくなるのではと考えている。
- ・完全移行は懸念点が多すぎる。生徒指導上の問題や、生徒の関係性を築く機会も減ってしまうため反対。学校での部活動指導員等を増やしたり、手当を増額したりする等が先ではないか。
- ・負担軽減という目的で縮小や切り離すという方向性が、そもそも違うのではないか。1番に考えるべきは生徒の部活動をとおした成長、居場所づくりではないかと思う。学校の教育活動の一環としての部活動だからこそ大きな意味がある活動であると考えている。

(地域移行に関するその他の意見等)

- ・教員と生徒が意欲を持てる教育活動としての部活を追求してもらえると嬉しい。平日は17時まで部活。休日はやりたい人は指導を行い、希望しない顧問の部に指導員等のサポートがほしい。
- ・そもそも部活動のあり方を見直し、今の形だけでなく平日のみ活動する部や生徒主体のサークル的な活動を取り入れたらどうか。それを地域人材とつなげていくことも地域移行の一つの形では。
- ・負担軽減していくべきだが、やりたいと思っている教員がいることも忘れないでほしい。
- ・受益者負担は一定必要だと考えるが、経済的な理由で活動ができなくなる生徒が増えないように、困窮家庭には、一定の補助等が受けられるような制度を設けてほしい。
- ・休日の指導を希望する教員は兼職兼業が認められ、相応の対価が得られるようにしてほしい。